



# ゆくて遥かに

平成 30 年 7 月 9 日 (月)

第 15 号

長野県松本深志高等学校長

## とんぼ祭準備期間その 3 (7 月 2 日~7 月 5 日)



とんぼ祭の前身は松本中学の「記念祭」です。昭和 23 年の深志高校創立と同時に第 1 回とんぼ祭となり、その自由の魂はしっかりと今に引き継がれています。与えられるものではなく、自分たちで作上げるもの。生徒手帳にも「とんぼ祭とは我々の日頃の研究の成果や、友らと手を取り造りあげてきたものを思う存分に發揮する場」で、「すべてが我々生徒の手で行われる」と書かれています。自由で主体的な自治



の精神は校風の柱として残り、とんぼ祭はその一つの**集大成の場**ということでしょう。生徒たちは朝早くから、夜遅くまで、時には学校に泊まり込んで精力的に準備を進めてきました。もちろん、すべてが順風満帆というわけにはいきません。想定外のことや緊急事態も度々起こりますが、その都度、係長を中心とする役員や当事者たちが時間をかけて話し合い、対応策を作り上げ、次善の行動に移



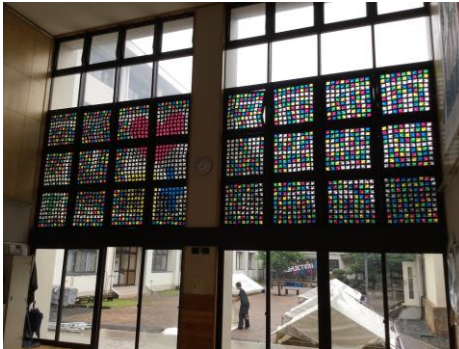
していきました。常に点検し、修正し、試行錯誤を繰り返して、生徒自身の力で最善の方向を見つけ出していく。今年は臨時の全校生徒集会も開かれました。授業だけではなかなか身につかない力、**苦しい時に踏ん張れる体力や精神力、仲間と一緒にやっていく力、リーダーシップ、フォロワーシ**



**ップ、企画力、おもてなしの心**等々。哲学者の内山節さんは、祭には神事、娯楽、結集の三つの要素がある、と言っています。とんぼ祭は神事ではありませんが、学芸協議会最大の発表の場として伝統的に在り続けてきました。求めてやまない智の聖火を燃やす「智の表出」こそ、とんぼ祭の原点です。第二の「娯楽」、一見無意味に思えるようなことにも全力を注いで取り組む、それが**若者の特権**でもあります。日常を一時離れ、大いに楽しみ、大いにエネルギーを燃焼させてほしいと思います。第三は「結集」、たまたま深志という場で出会った校友が、とんぼ祭という場を共有して仲間意識を高め、全校生徒が一つに結集する場であってほしいと願っています。



そして、**第71回とんぼ祭**へ1（7月6日～9日）



その他の話題をいくつか

- ★ 水泳部の1年峯村さんが県総体水泳女子 200m平泳ぎで6位、100m平泳ぎでも8位に入賞し、北信越大会への出場を決めました。より高みを目指して頑張ってください。
- ★ 棋道部囲碁班の全国大会出場に対して同窓会より激励金を頂きましたので、校長からの僅かな志を加えて、代表して3年倉科くん校長室で手渡しました。健闘を祈ります。



今週の予定（A2）

日	曜日	行事等	その他(主に校長動向)
9	月	とんぼ祭 全校清掃 ファイアーストーム	都道府県高校長協会長研究協議会
10	火	振替休日 (7/7)	校長会理事会
11	水	職員研修会 (ICT)	
12	木	3年進路別ガイダンス	校長会就職枠拡大要請
13	金	地区PTA (明科・会田・生坂)	地区PTA (明科・会田・生坂)
14	土	模試①②③	
15	日		
16	月	海の日	総文祭放送部門役員会
17	火	(B2) 学年会 (成績会議)	